

東京学芸大学 外国人児童生徒教育推進ユニットC 第1回実践交流会（対面）
「多様性が活かせることばの教育実践2025」
～私の実践を語り、子どもの姿に学ぶ～
2025.10.4

JSLカリキュラムの考えに基づく 光村図書 2年(上)「たんぽぽのちえ」における授業実践

目黒区立東根小学校日本語国際学級
主幹教諭 田中 寛子

本資料の利用について

教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

目黒区立東根小学校 日本語国際学級について

○ 自校通級児童

週 1 ～ 4 時間の取り出し指導
(40分間 / 1単位時間)

※目黒区では「40分授業午前5時間制」を実施

○ 区内他校からの通級児童 ※保護者等による送迎が必要

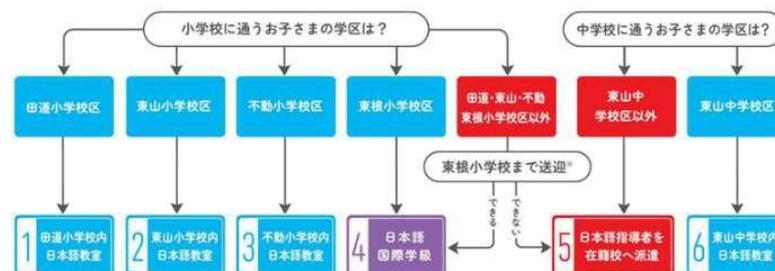
週 1 ～ 2 回の取り出し指導
(休憩時間を含む90分間 / 1回)

午前:8:30-10:00 午後:14:00-15:30

目黒区立小・中学校の日本語指導案内

目黒区では、日本語がわからず困っている、外国につながる児童・生徒の日本語能力向上のための指導をしています。

ご自宅の住所やお子さまの年齢に合わせて以下の選択肢があります。



※東根小学校日本語国際学級には、保護者または保護者に準ずる方、保護者が依頼する移動サービス事業者等が、電車やバスなどの公共交通機関を使用して送迎する必要があります。

<p>1 田道小学校内日本語教室</p> <p>学区 中目黒四丁目7～10番、三田一丁目全域、三田二丁目全域、目黒一丁目全域、目黒二丁目1～3番、13～15番、目黒三丁目1～3番</p> <p>特長 多言語・多文化をもつ児童が多く在籍しており、お互いの文化を紹介したり、日本文化、伝統行事等に触れ合ったりする学習活動を行っています。</p>	<p>2 東山小学校内日本語教室</p> <p>学区 東山一丁目1～2番、10～15番、22～25番、30～35番、東山二丁目全域、東山三丁目全域、大橋二丁目24番、上目黒五丁目1～4番、13～17番、上目黒五丁目20～25番、31～33番</p> <p>特長 海外滞在経験や、多言語・多文化をもつ児童が多く在籍しています。日本語指導や教科指導を行い、学校生活に適應できるよう支援しています。</p>
<p>3 不動小学校内日本語教室</p> <p>学区 下目黒四丁目全域、下目黒五丁目全域、下目黒六丁目全域、目黒本町一丁目全域</p> <p>特長 令和7年度から始まった新しい日本語教室です。</p>	<p>4 日本語国際学級(東根小学校)</p> <p>学区 柿の木坂二丁目全域、柿の木坂三丁目全域、八雲四丁目全域、八雲五丁目全域、東が丘一丁目全域、東が丘二丁目全域</p> <p>特長 作品展や学習発表会など、児童同士が作品発表を通して交流する機会があります。</p>
<p>5 日本語指導者を在籍校へ派遣</p> <p>授業時間 週1～2回(1回2時間)</p> <p>特長 日本語教育コーディネーターが日本語能力を判定し、指導員を派遣しています。早稲田大学大学院日本語教育研究科と協定を結び、専門的な知識・指導経験をもとに、きめ細やかな指導に取り組んでいます。</p>	<p>6 東山中学校内日本語教室</p> <p>学区 青葉台一丁目22～23番、30番、東山全域、大橋二丁目24番、上目黒一丁目16～22番、上目黒二丁目46～49番、上目黒三丁目1～3番、上目黒三丁目6～44番、上目黒五丁目全域</p> <p>特長 1年に2回、外国につながる生徒の保護者会を行い、保護者同士の懇談会や進路情報を伝えています。</p>

Contents

- 1 授業づくりのプロセス
 - 2 光村図書 2年(上)「たんぽぽのちえ」を題材にした取組
 - 3 各教科へ応用できる取組
 - 4 初期指導段階における取組
 - 5 大切にしたいこと
- 

1 授業づくりのプロセス

日本語指導のねらい ⇄ 教科学習

① どのような言葉や日本語表現を身に付けさせたいか?

② どのような方法で身に付けさせるか?

③ 教科学習と関連づける。

どの教科、どの単元、どの教材でそれらの言葉や表現を扱うことが有効か?

③ そのために必要な言葉や日本語表現は何か?

② どの教科のどの単元なら主体的に参加できるか?
～ 児童の能力・関心 等 ～
どのような参加の仕方が想定できるか?

① 在籍学級の授業にどう参加させるか?

児童・生徒の日本語能力 + 在籍学級での様子

2 光村図書 2年(上)「たんぽぽのちえ」を題材にした取組

(R7年度 4月～の実践 指導対象児童 低学年 2名/高学年 2名 → 来日 1年 日本語ゼロからのスタート)

〈この時期にこの教材を取り上げた理由〉

- ① 教科学習に生かせる言葉を身に付けさせたい。(理科・生活科との関連)
- ② 文章を読む経験を積ませたい。 ※教科書教材を扱う意義



- ★ 出来事の順序が分かりやすく整理されている文章である。
- ★ 実物を観察し、体験を伴って内容を理解することができる。(季節的な捉え)



〈教科の目標〉 ◎ 時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉える。

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。

〈日本語の目標〉

- 理由を示す文末表現「～(だ)からです」の用法を理解し、文章の中から理由を読み取ったり、自分の考えや行動の理由を説明したりすることができる。
- 実物を触ったり動作化したりすることを通して擬態語(オノマトペ)の意味を捉え、理解し、それらの言葉を使って物の状態や動きを表現できる。

- 文章を読み、内容を理解することを通して、日本語で書かれた文章に慣れ親しみ、すすんで「読む」活動に取り組むことができる。

- 「こそあど言葉」(指示語 3年) や「つながり言葉」(接続詞 4年) の役割について理解し、書かれている内容を正しく理解するとともに、文や文章の中で適切に使うことができる。

生活科・理科との関連【植物の育ち方】

〈教科の目標〉

- 植物の育ち方には一定の順序があることを理解する。
- 植物の成長のきまりや体のつくりについて表現する。

〈日本語の目標〉

- 見た感じ、触った感じを表現できる。
- 「種、葉、芽(発芽)、花、実、育つ、比べる」などの言葉や、「種をまく」「水をやる」「芽が出る」などの表現を身に付け、成長の様子を伝えたり、観察記録文を書いたりすることができる。

2-1 児童の実態に応じた指導内容の工夫

週1回（90分）のペア学習（2・3年生 / 4・6年生）
【 話す・聞く + 実験・体験等の活動 】

と

週1回（90分）の個別学習
【 読む・書く + 個別の課題 】

〈主な学習活動〉

- ①文章を読み、大体的内容を捉える。（絵や写真、動作化、言語化 等）
- ②「なぜ～」に対する答えを見つける活動を通して、理由や原因を示す表現を身に付ける。
- ③順序を捉えて、絵カードを並び替える。
- ④実際のたんぽぽを見て、その状態について文中の言葉を用いて説明する。
- ⑤「ふわふわ」「ぐんぐん」等のオノマトペに触れ、触った感じや見た感じに関する表現を増やす。

※学習活動の最後に、もう一度教材文を読み、理解の深まりを確かめる。

⑥同じような説明文を自分で読み、内容の大体を捉える。（文章を読む経験を積む）

⑦ 「こそあど言葉」や「つなぎ言葉」の役割について
体験的活動や問題演習を通して理解する。

2年生 母語：英語

自分の好きなこと、自信がある活動には参加するが、少しでも「できないかも？」という思いがあると、学習だけでなく、遊びであっても**参加しない**。

3年生 母語：中国語

今年度に入って友達関係も広がり、どんどん日本語で話せるようになってきている。しかし、平仮名・片仮名の読み書きの定着の時間がかかっており、「**読む**」ことへの**抵抗感**が大きい。

4年生（※1年過年） / 6年生 母語：中国語

年齢相応の理解力はあるものの、間違えることを恐れて、なかなか**日本語を使って話そうとしない**。そのため、語彙や日本語表現の定着に時間がかかっている。
漢字で書かれているものは（日本語の読みとは一致しなくても）漢字から意味を理解することができるが、平仮名表記からは意味が捉えにくく、**平仮名で表記される言葉**（接続詞、指示代名詞、擬態語など）への**理解が乏しい**。

2-1 児童の実態に応じた指導内容の工夫

週1回（90分）のペア学習（2・3年生 / 4・6年生）
【 話す・聞く + 実験・体験等の活動 】



週1回（90分）の個別学習
【 読む・書く + 個別の課題 】

- 〈主な学習活動〉**
- ①文章を読み、大体的内容を捉える。（絵や写真、動作化、言語化 等）
 - ②「なぜ～」に対する答えを見つける活動を通して、理由や原因を示す表現を身に付ける。
 - ③順序を捉えて、絵カードを並び替える。
 - ④実際のたんぽぽを見て、その状態について文中の言葉を用いて説明する。
 - ⑤「ふわふわ」「ぐんぐん」等のオノマトペに触れ、触った感じや見た感じに関する表現を増やす。
- ※学習活動の最後に、もう一度教材文を読み、理解の深まりを確かめる。

⑥同じような説明文を自分で読み、内容の大体を捉える。（文章を読む経験を積む）

⑦ 「こそあど言葉」や「つなぎ言葉」の役割について
体験的活動や問題演習を通して理解する。

2年生 母語：英語
一つ一つの言葉を丁寧に読むことで、内容を理解し、在籍学級での学習に生かせるようにする。



3年生 母語：中国語
分からない言葉の意味を補足することで、自分でも文章を読んで理解できるという自信につなげる。



4年生（※1年過年） / 6年生 母語：中国語
知らない言葉があっても、既存の知識と結び付けたり前後の文脈から意味を推測したりしながら読み進め、大体的内容を理解することができる経験を積む。また、言語事項を取り上げて指導することで、日本語の語彙を増やす。



2-2 実際の学習活動①

活動①【種をまこう】

- 「春」について
- 「植物」とは…?
- どんな「花」?
- 「種」をまく→色・形・大きさ
- 栽培に必要な道具の名前
ポット・プランター・花だん・シャベル・じょうろ等
- 「種をまく」「水をやる」などの表現

- 観察記録文を書く
 - ・きょうのこと（低学年）
 - ・観察記録ノート（高学年）
- ※色・大きさ・形・手触りなどの観察の視点をもたせる。

「水をやった?」「芽は出た?」
などの
日常的なやりとり

活動②【「たんぽぽのちえ」を読もう】

●本文を読む

- ①知らない言葉、分からない言葉の確認
 - ・サイドラインを引かせる / 問いかけ、意味を説明させる
 - ◀◀言葉による言い換え 絵や写真の提示 動作▶▶
- ②内容の大体を捉える
 - ・「なぜ〜?」の問いに対する答えを見つける
 - ➡「〜（だ）からです。」の表現を身に付ける
 - ◀◀身近なことを質問し合う活動 文づくり
 - ・挿絵を見て、様子を答える / 挿絵を順番に並べ替える



●外に出て、たんぽぽの写真撮影する ※学習用情報端末の活用

- ①たんぽぽをさがす
 - ・似た植物との違いを言語化 (例) T「これ、たんぽぽ?」 C「ちがう」
 - T「どうして?」 C「たんぽぽは もっと、花 大きい」
- ②いろいろな状態のたんぽぽを撮影する
 - ・自然な会話の中での「再話」
 - (例) T「たんぽぽは何をしているの?」
 - C「じくを休ませている。」
 - C「あっ! わた毛 とんだ!」



2-2 実際の学習活動③

◆触った感じをオノマトペで言語化する活動◆

写真	ものの名前	さわった感じ(さわごこち)	写真	ものの名前
	おり紙			綿
	和紙			フェルト
	お手ふきの紙			布
	アルミホイル			不織布
	エアクッション			毛糸
	紙やすり			スズランテープ
	発砲スチロール			布ガムテープ
	ビニール			紙ガムテープ
				ナイロンたわし

◆「こそあど言葉」を使った言語活動◆

様子	方向	場所	事物(もの)
こんな	こちら	ここ	この
そんな	そちら	そこ	その
あんな	あちら	あそこ	あの
どんな	どちら	どこ	どの

㉞ これは、えんぴつです。／ここに、男の子がいます。 この人が、おかあさんです。／わたしのすきなひなものは、これです。	㉟ あの、いろえんぴつは、わたしのです。 あそこに、犬がいます。／わたしがすきな動物は、あれです。
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
㊱ そこに、とりがいます。／それは、はさみです。 バス停は、そこにあります。／その鞆箱は、わたしのです。	㊲ どの動物がすきですか？／わたしのはさみはどれですか？ 保健室は、どこにありますか？／鞆は、どうやって使いますか？
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥



たわしだと思う。
ちくちくするから。

紙やすりだと思う。ざらざらしているから。



2-2 実際の学習活動④ ～生活科・理科との関連～

活動①【種をまこう】

- ◎「春」について
- 「植物」とは…?
- ◎どんな「花」?
- ◎「種」をまく→色・形・大きさ
- ◎栽培に必要な道具の名前
ポット・プランター・花だん・シャベル・じょうろ等
- ◎「種をまく」「水をやる」などの表現

- ◎観察記録文を書く
 - ・きょうのこと（低学年）
 - ・観察記録ノート（高学年）
- ※色・大きさ・形・手触りなどの観察の視点をもたせる。

「水をやった?」「芽は出た?」
などの
日常的なやりとり

2・3年生は花だんの草むしりからスタート



どうして?

はじめはポットで発芽させる ※視点を絞る



花だんに植え替える



どうして?

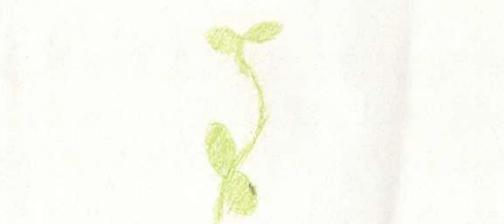
2・3年生の「きょうのこと」(文型を提示→「書く」)

きょうのこと 4月16日(水)
なまえ



きょうがだんにいきました。
手ぶくろをはきでいきました。
草がいっはいでした。
草をぬきました。そうしたら、
かえるがびっくりにて
でまきました。たんごむしめは
かだんは、きれいになりました。

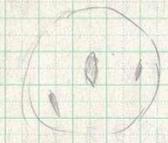
きょうのこと 5月14日(水)
なまえ



きょう、ひまわりのかんさつをしました。
2しゅうりのは、はがかりました。
はじめのは、はは、まるくてかたいが、
もうひとつのは、はは、さがほそくて
やわらかいです。ももは、はが大きな
て大きな花がさいてほいでです。
5月16日(金)、かだんにてかえま

6年生の「観察ノート」 (理科用語を用いる)

たねの観察 4月22日(火)

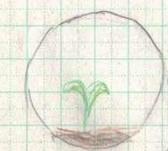


種の形はほそ長い
です。
1つの大きさは3
mm
くらいです。
きょう、種をまきま
した。
スターチスの種です。

めんの観察



めが出る
(はつが)
発芽



5月2日(金)
めが出ていました。
葉はほそ長い
です。
花びし草のほう
がほ
そい
です。
さねるとおるん
肥料をあげまし
るんします。

さねるとおるん
肥料をあげまし
るんします。

2-2 実際の学習活動⑤～生活科・理科との関連～

きょう、_____の かんさつをしました。

形は？

2しゅるいのはっぱがありました。色は？

さわった
感じは？

はじめのはっぱは、_____です。

もうひとつのはっぱは、_____です。

どうなってほしい？

うえる + かえる → うえかえる

2・3年生の「きょうのこと」 提示文型



きょう、ひまわりのかんさつをしました。
2しゅるいのはっぱがありました。
はじめのはっぱは、まるくてかたいです。
もうひとつのはっぱは、さきがほそくて
やわらかいです。もとは、はっぱが大きな
て大きな花がさいてほしいです。
5月16日(金)かたんこがえまひ



きょうおいぎそうのかんさつをし
ました。2しゅるいのはっぱが
ありました。はじめのはっぱは、まる
くてさあついで。もうひとつの
はっぱは、しほそながくて、さわ
るとはっぱがとじまお花がさく
のかたのしみです。5月27日花だんに
うえかえました。

→ 書いた(≠書けた?)
自信

C: これ、持って帰る、
いいですか?

T: ○○先生に
見せるの?

C: うん。

<高学年>
観察記録に記述すべきことが
何かを自分で考えながら書く。

日本語表現の支援

理科用語の提示

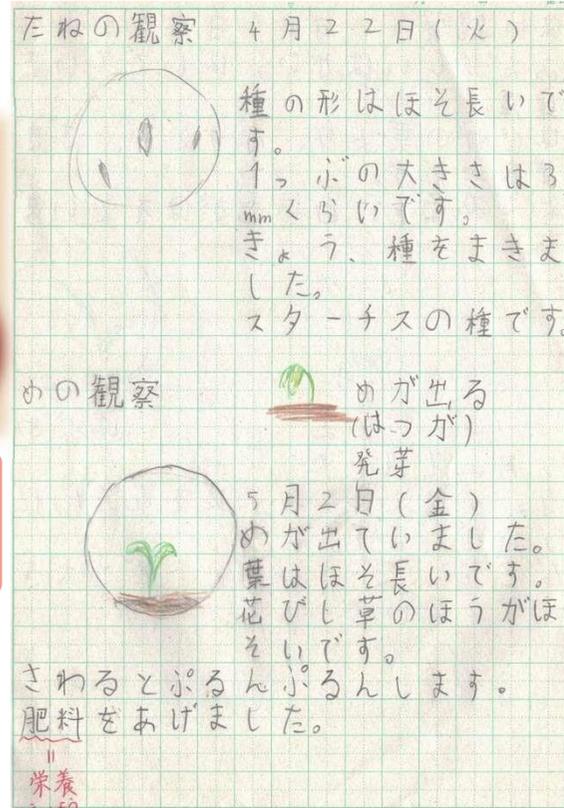
書く

在籍学級の学習で使える
言葉・日本語表現・文章モデル

<低学年>
生活科カードや理科の観察カード
に書く内容、文の書き方を学ぶ。

モデルづくり

書かせる



観察記録ノート

- したこと (種をまく、水をやる、植え替える等)
- 観察したこと
 - ・色 ・形 ・大きさ ・手ざわり ・変化
 - ・前後のちがひ、種類によるちがひを比べる
- 理科の言葉
種(種子)・発芽・子葉・葉・根・茎・肥料

2-2 実際の学習活動⑥ ～まとめ～

【指導時間について】 通常： 休憩時間を含む90分間 / 1回
 ※ 1回につき1活動とは限らないため、本取組に関しては毎回60分程度
 例:「きょうのこと」の発表、熟語の確認テスト等との抱き合わせ



(写真を見て) たんぽぽの話をする時「やらない」って言った。できないと思ったから。でも、できた。うれしかった。



・雨の日のたんぽぽのわた毛ことが分かった。
 ・「～(だ)から」の言い方ができるようになった。



様子を表す言葉の学習が、一番楽しかったです。どんな言葉が合うのかをさがすのがおもしろかったからです。



最後にもう一度読んでみると、自分で読めるようになっていました。意味も全部分かりました。できるようになったと感じました。

2・3年生ペア		4・6年生ペア	
1	・花壇の草むしり ・種まき ・きょうのこと (種・種まき)	1	・植物とは? ・種まき ・道具の名前 ・観察記録ノート (種・種まき)
2	・「たんぽぽのちえ」本文を読む ・「なぜ～?」→理由の表し方	2	・「たんぽぽのちえ」本文を読む ・「なぜ～?」→理由の表し方
3	・きょうのこと (成長の様子) ・変化の順の確認→挿絵の並べ替え ・タンポポの写真撮影	3	・観察記録ノート (発芽) ・挿絵の並べ替え ・タンポポの写真撮影→再話
4	・タンポポの写真→再話 ・穴あき作文①	4	・穴あき作文 (言葉に注目させる) →「こそあど言葉」の学習への導入
5	・穴あき作文② →様子を表す言葉への導入	5	・「こそあど」言葉の演習・習熟 ・観察記録ノート (子葉と葉)
6	・様子を表す言葉(オマトハ°)の習熟	6	・接続詞の意味と用法→演習・習熟
		7	・様子を表す言葉(オマトハ°)の習熟
7	・学習のまとめ (振り返り)	8	・学習のまとめ (振り返り)

※必要に応じて個別学習の時間に補習し、習熟・定着を図る。

3 各教科へ応用できる取組

作品展テーマ「〇〇〇のいいところ・すてきなところ」

- ・住んでいた国のいいところ・すてきなところ
- ・日本のいいところ・すてきなところ

※ 6年生は在籍学級の卒業文集への取組も兼ねる

➡ ①好きなものや好きな場所について紹介する

②他と比較しながら良さを伝える

(例) 日本の学校では……中国の学校では……

◆学習活動「くらべてみよう～同じところ ちがうところ～」◆

参考資料「読み書きにつまずく子への国語教材集」ナツメ社2018/1/10

	東根小学校日本語国際学級の行事	ねらい
6月	ほほえみタイム<1> 集会活動 ※言語別2グループに分けて実施	コミュニティづくり
11月	日本語国際学級作品展 作文掲示	「書く」活動 国際理解
12月	学習発表会 作品展作 発表活動 ※日本語能力別2グループに分けて実施	「話す・聞く」 活動
2月	ほほえみタイム<2> 集会活動 ※学級全体で実施	交流を深める

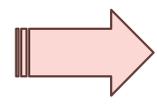
教材の写真

4 初期指導段階における取組

在籍学級での授業に
参加するきっかけをつくる

- ★ 数の読み方
- ★ 四則計算の読み方

+ (たす) → 足し算
 - (ひく) → 引き算
 × (かける) → かけ算
 ÷ (わる) → わり算
 = (わ)



計算練習の
答え合わせの場面で…

「□ + ■ = ○
 です。」

周囲から認められる
↓
自信

- 「式」・「答え」等の用語
- 助数詞 (～個、～本、～匹、～台 等)
- 量の単位 (cm, g, L, cm² 等) の読み方
- 「多い／少ない」「大きい／小さい」「長い／短い」等の語彙
- 「○○の方が△△です」等の比較の表現



教材の写真

5 大切にしたいこと…

見極め→判断→さじ加減

聞かせる≠聞ける

話させる≠話せる

読ませる≠読める

書かせる≠書ける

×「分かった？」 ×「いい？」
×「〇〇ということ？」 → 「うん」



日本語指導でしか
できない取組を…

指導を終えた時、
お土産をいくつもたせる
ことができたか？

★ 身に付けさせたいことは何か？

- ➡ ねらいを明確にして、指導内容・方法を考える
 - ・教科補習との違いを明確にもつ（日本語の目標設定）
 - ・同じ教材でも、指導できる内容はいくらでもある
 - ▶▶▶ 児童・生徒の「関心」（必要感）があるものを通して、学び方を学ばせる

★ 思考させる（日本語でも母語でも）日

- ➡ 本語でのアウトプットの方法を教える
 - ・考える機会を多く設定する
 - ・アウトプットの機会を多く設ける（間違えてもよい安心感）

★ 在籍学級での学習／今後の進路に活かせるもの 児

- ➡ 童・生徒の「自分にも『分かる／できる』を増やす
 - ・在籍学級での進度や取組の把握
 - ・在籍学級での指導と食い違いを生じさせない
 - ・(限られた時間だからこそ)指導時期、指導内容の精選

ありがとうございました

目黒区立東根小学校
日本語国際学級
主幹教諭 田中 寛子

